



外国人の居住支援

かながわ外国人すまいサポートセンターの働きから見えること

べい あん
裴安 (かながわ外国人すまいサポートセンター理事長)



「かながわ外国人すまいサポートセンター」(以下「すまセン」)は、2001年、外国籍住民の入居問題を解決すべく立ち上げられた。現在、やさしい日本語を含む10言語による住宅探し、言葉や生活習慣が原因で起こるトラブルの解消についてアドバイスを行うことを主たる業務とする。

1998年神奈川県が設置した「外国籍県民かながわ会議」にて外国人の居住問題が重要課題として議論され、その後、県知事への提言書に盛り込まれた。

神奈川県は提言を実践すべく、県内の自治体住宅関係担当をはじめ宅地建物取引協会、全日本不動産協会、日本賃貸住宅管理協会など不動産業者団体、外国人団体、NGO、国際交流団体へ呼びかけ、外国人の入居問題について話し合う場の設定へと歩みを進めた。

外国籍住民、業界団体、行政、NGOなどが一同に会することは画期的なことではあったが、それぞれの思いや考えが必ずしも一致するものではなかった。外国人だという理由で不動産店内への入店さえ許されなかったこと、契約寸前まで進んだが日本国籍でないことが分かり契約拒否された在日コリアンからの報告もあった。実際、「すまセン」発足後、米国人のアパート探しを依頼され不動産店に問い合わせたところ、「米国人？白黒どっち？」と聞かれたり、別の業者は特定の国の人達の入居を拒むなど、人権問題として扱われるべきことも起きた。

確かに、マナー違反をする外国人も、外国人だと言う理由で入居拒否する業者もオーナーも存在した。話し合いを通しマナー違反をするのはごく一部であること、ある業者からは「トラブルが起きたことはあるが再発させないためにはどうすべきか考えた」との発言があり、会議の流れは課題共有へと進んだ。その結果、ここに会した人たちを主に理事会を発足させ、団体設立へと至った。

「すまセン」の業務は多言語による家探しとトラブル解消が主であるとしたが、団体発足後間もなく「家もお金もない」、「労働」、「教育」、「DV」、「債務」、「滞納」、「公営住宅の入居サポート」など、家探しに至る前の手続きや緊急を要する人々からの相談も多く持ち込まれた。だが、深刻で複合的な問題や悩みを抱える外国人に寄り添う事はたやすいことではない。言葉が通じればいいという考え方はあまりにも短絡的である。習慣や思考、ルーツのある国と日本との法制度の違いを考慮することや、排他的な環境の中で生きづらさを抱えるマイノリティへの配慮も必須である。彼ら、彼女らの話を丁寧に聞き寄り添い、自立に向けることが「すまセン」の活動であり、問題解決のために業界団体、行政、司法関係団体、国際交流団体、NGOなどとの連携は必要不可欠だと言える。

移住者のほとんどは日本の産業と経済の担い手であるが、その権利保障は未だ十分とはいえない。昨年の入管法改正は、労働者たちが海外から入国する更なる機会となったが、彼ら、彼女らの権利や生活を守るものは備えられていない。

それだけに「すまセン」の活動は、より幅広い連携と信頼を重ねながら住民としての外国人を支えていかねばならないと考える。

【プロフィール】

東京生まれ、コリアン2世、横浜在住38年。
外国籍県民かながわ会議第1期、2期委員。第1期最終提言を受け神奈川県、不動産業界団体などとの連携により「かながわ外国人すまいサポートセンター」設立。現理事長。外国人の住まいと生活、自立を支えるための総合サポートを行う。
その他、外国人学校ネットワーク共同代表、生活困窮者自立支援事業において専門アドバイザー、スーパーバイザーを担う。
神奈川県居住支援協議会副会長、横浜市居住支援協議会幹事、川崎市居住支援協議会幹事、鎌倉市居住支援協議会メンバー。

第29回 世界YWCA総会

WS「ユースがYWCA運動の主体となるには？」



29TH WORLD
YWCA COUNCIL
YOUNG WOMEN TRANSFORMING POWER
STRUCTURES FOR GENDER EQUALITY
17-22 NOVEMBER, 2019

昨年南アフリカ・ヨハネスブルグで開催された第29回世界YWCA総会に参加したユースメンバーの福田百さんに、ワークショップの様子を書いていただきました。神戸YWCAでは、11月30日(土)と12月14日(土)に、対象を変えて報告会を実施しました。世界YWCA総会については日本YWCA『機関紙』2020年2月号で特集されていますので、併せてご覧ください。

日本YWCA主催のワークショップは、「ユースがYWCA運動の主体となるには？」をテーマに実施した。このテーマは、世界YWCA総会のテーマと日本YWCAのユース会員の減少、若い女性の運動への参画に関する課題を踏まえて決定した。日本YWCAメンバーを含め約50人が参加した。

内容としては、YWCA運動においてユースが力を発揮するために重要だと考えた「多世代協働」「ネットワーク」「スキルを身につける・活かせる」「地域に根差した活動」「セーフスペース」と



右上：ワークショップ参加者
中：パレスチナYWCAミラ新会長
左下：神戸Yの手づくりワッペン



いう5つのキーワードを軸とした。日本YWCAユースが自分自身の体験を語った後、参加者に羽根をかたどった紙を渡し、「ユースがYWCA運動の主体となるには？」という問いへの自分なりの答えを書いてもらった。それらを貼り合わせ、より魅力的なYWCA運動へはばたく「翼」を作りあげた。

今回のワークショップは、多くの方の助けがあって開催できた。また、派遣メンバーそれぞれのひらめきやアイデアを出し合って創ることで、私たちユースをエンパワメントするものとなった。今後も、YWCA運動の一員として、多様な人たちとともに協力し励んでいきたい。

(福田 百)

みんなで祝うクリスマス ～光は暗闇の中で輝いている～



林美恩宣教師

橋本静子さん

神戸YWCAクリスマスの集いが12月7日(土)13時30分より、神戸YWCA会館5階チャペルにおいて催された。

第1部礼拝では林美恩宣教師(日本基督教団神戸聖愛教会)による「皆のために」とのメッセージ、第2部祝会では会員の橋本静子さんによるピアノ演奏「やすらぎの小曲集」、グループの皆さんによるクリスマスソ

第1回 神戸YWCA100年 思いをつなぐ会



渡邊順子さん

片山恵さん

長く神戸YWCAの様々な分野に関わられたお2人の語られる言葉には、私たちの今に通ずるものがありました。(参加27人)

ングや楽器演奏など豊かな音楽のひとつときを楽しんだ。参加者50人(内会員32人、一般18人)。

(キリスト教基盤部・宮田 泰子)

はっぴー あるばむ



“外国にルーツをもつ子どもたちの日本語プログラム”から

大学受験が終わったばかりの先輩3人に入試の話をお聞きしました。

ありがとうございました 2019年度クリスマス献金先

神戸の冬を支える会、W・S・ひょうご、神戸いのちの電話、原爆の図丸木美術館、被災地NGO協働センター、釜ヶ崎希望の家、日本YWCA東日本大震災被災者支援募金、日本YWCA災害時支援募金、神戸YWCA (敬称略)

あの不思議な光景を見届けよう

マザースカレッジ
企画会

「マザースカレッジ企画会」の誕生は、神戸YWCAの職員で会員であった故湯口恵さんがきっかけです。当時、YWCAのためにご奉仕をされた会員の方々の居場所がないことから、1997年に集いの場「アフタヌーン・ティー」が発足しました。多様なプログラムを進める中、「ストーリーテリングの勉強会を開いて欲しい」と参加者の強い要望で、1999年から「よりよく生きるために、子ども、本、おとなの出会いの中で生きる糧」をキーワードとして多くの研究者から学ぶ講座を続けています。

今年度は芦田悦子先生のストーリーテラー養成入門講座修了生の研究会が発足。より質の高い指導者を目指して活動しています。2月からは正置友子先生の講座「現代絵本の源流を求めて」(3回)が始まりました。大月ルリ子先生グループの研究会も16年続いており、月1回、神戸真生塾の子どもたちへ、絵本、おはなしを語るボランティアも実施しています。(郡 あや子)

● 居住支援窓口担当者研修会

神戸YWCAは5月に「住宅確保要配慮者居住支援法人」を取得し、9月より相談窓口を開いている。11月29日(金)、川島恵美さん(関学大准教授)を講師に研修会を開き、窓口に関わる16人が参加した。

川島さんからまずこの制度について解説していただき、相談支援の基本を学んだ。「支援の主体は要配慮

昨年11月、世界YWCA総会へ神戸YWCAから2人のメンバーを派遣できた。本当に嬉しく、感謝である。その報告会で、世界YWCAが大切にすることは「Be courageous, Be inclusive, Be vulnerable」だと聞いた。単純に訳せば「勇敢であれ、包括的であれ、弱くあれ」であろうか。特に「弱くあれ」が心に残った。私たちは弱い。だからこそ、一人ひとりが力を寄せ合い歩んでいくというイメージに励まされ、また身を正される思いがした。

実のところ年末までは、私自

身が完全に行き詰まっていた。多様な人たちの集まりの中で互いに学び整理し、変革していくには、時間がかかる。しかし、ひとり旅では決して出会えない驚きや発見も、またあるのだ。

突然だが、私は正月には必ずTVで駅伝を観る。某飲料メーカーのCMで、とある脚本家がこう言っていた。「行き詰まりはそろそろゴールが見えてきた証拠だ」。またまた「さあ、進め」と背中を押されつつ、2020年度に向かっていく。

(総幹事・西本 玲子)

者であり、彼らが自己決定できるようエンパワーメントするのが支援者の役割である」との言葉が強く心に響いた。(塩見 洋子)

● 神戸「冬の家」越年越冬

12月29日(日)、夜回り準備会当番の炊き出しが行われた。厳しい生活を余儀なくされている方々が温かいカレーと甘い林檎煮で、また集まったボランティアとの関わりの中で、ひと時ホッとされたなら幸いである。



同日の慰霊祭では全ての人とその人生が等しく尊重されるべきであることを学び知った。簡単ではないが、活動に関わり続けることでその境地に近づきたい。(西村 みゆき)

第100回 神戸YWCA
定期会員集会
3月14日(土)
10:00~15:00
神戸YWCA会館5階チャペル

第1部(午前) 事務会
2019年度活動報告
2020年度活動計画・予算案
など協議

第2部(午後)
神戸YWCA100周年
「神戸YWCAの未来を考えよう
みんなでつくり上げていく私たちの
これから」



去年は、海外
宣教のために米
国、東南アジアの

いくつかの国を訪問し、様々

な人と出会った。その中で、アフリカからのゲストと共にサンフランシスコ神学校や周辺の観光をした。共に過ごすことで、国や環境でカルチャーが大きく異なることを新たに痛感した。日本での生活が長い私は「時間厳守」や「お返し」カルチャーを知っている。アフリカでは「お返し」の慣習はなく、分刻みで電車が発車することもないと聞いた。また、東南アジアの国では体重が増えるのは喜ばしいことだ。私たちの常識は他の人々の常識ではない。自分では知っていたつもりなのが覆された。新しい年になったものの、世界は米・イランの報復攻撃など国や人の間に分裂をもたらしている。例えば、人とふれあうことで学ぶことが多かった。相手のカルチャーを理解し受け入れ、敬意を表す。それが平和を築くことへとつながるのではと思う。100周年の今年、神戸YWCAでは韓国を訪問し、そのカルチャーに触れ学び、親善交流を深め、互いに平和を築いていこうと夢見ている。(モーアアン)

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA **本館**: 神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201
 神戸YWCA **分室**: 神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

● ちゃいやあらんど 分室

ママと子どもたち (0歳~幼稚園前) のグループ。
 「定例会」2月5日(水)、19日(水)、3月4日(水)、
 18日(水) 11~15時
 参加費 300円 (1回)
 「ぬいぬいの会」
 2月14日(金)、28日(金) 10~12時
 参加費 500円 (1回)

● 地域のお店くるくる (リサイクルファッション) 分室

2月20日(木)、3月19日(木) 13時30分~15時

● Peace Bridge (ピースブリッジ) その他

「人間の尊厳と労働—非正規雇用、パワハラ、過労死 etc.」
 2月14日(金) 14~16時
 場所 喫茶「エスポワール」(阪急六甲駅南側すぐ)
 講師 豊川 義明さん (弁護士)
 参加費 1,000円 (資料・1ドリンク含む)

● カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
 2月1日(土)、3月7日(土)
 10時30分~15時
 参加費 300円 (食事代400円)
 *昼食はみんなで作って食べます (要予約)。

● 木曜カフェ 分室

毎週木曜日 14時~16時
 マルシェとカフェでほっこり!
 第4木曜日は音楽セッションもあります♪

● 夜回り準備会ボランティア募集 その他

毎月第2・4土曜日の18~21時頃
 灘区、東灘区で路上生活をしている方々を訪問し
 ます。一緒に活動して下さるメンバーを急募。
 運転できる方、特に大歓迎です。
 電話 (078-221-5111)・メール (yomawari@kobe.ywca.or.jp) でお問い合わせください。

うるう日の

魅惑のフルーツ & オリジナル等

スペシャルスプリングコンサート

2月29日(土) 14:00~16:00

出演 角家道子 (Fl.)・増田厚司 (Koto)

春の海/リカード・ボサノヴァ/ジブリメドレー/リベルタンゴ他
 チケット 2,000円 (小・中学生1,000円、小学生未満無料) コーヒー付
 お問い合わせ ファンドレイジング実行委員会



分室わいわいバザー! お楽しみに!

日時 3月21日(土) 12:00~15:00
 場所 神戸YWCA 分室

■ まごの手だより

1月のまごの手研修では、「利用者とのコミュニケーション」について、関学大の川島恵美さんから学びました。2月22日は、中川郷子さんを講師に迎え、「ヘルパーのための健康づくりストレッチ」を体験します。3月21日と28日は、ヘルパー登録説明会と全体研修を実施します。現在活動しているヘルパーはベテラン揃いの29人。未経験の方でも、ヘルパー業務に関心のある方はお問い合わせください。
 (所長・寺内 真子)

■ 分室だより

今年度「わいわいランチ」では、「フードロス削減」活動をしているコープこうべから毎月1回食品を提供していただいています。
 また、遠方の支援者の方からは今年もたくさんのりんごが届き、分室が笑顔で一杯に

なりました。皆さまの善意に支えられていることに感謝。
 ちゃいやあらんどグループでは、布を使った作品づくりをする「ぬいぬいの会」が大人気! 裁縫が苦手な人も大丈夫。ぜひご参加ください。
 (塩見 玲子)

■ 運営委員会報告

(12月)
【報告】 理事会▶日本YWCA 関連 (CSW 派遣、LA2「会員スキルアップ~四市Y~」)▶指名委員会▶各部・行事報告
【議事】「神戸YWCAの未来を考えよう」の会評価▶LA2チーム①ミーティング▶日本YWCA ミッション・ビジョン・バリューの意見集約▶2019年度活動報告確認▶定期会員集会準備会メンバー承認▶神戸YWCA新組織の件▶後援・賛同
 (1月)
【報告】 理事会▶日本YWCA

関連 (LA2「会員スキルアップ~四市Y~」、四市Y合同ミーティング)▶指名委員会▶各部・行事報告**【議事】**2020年度活動計画確認・承認▶定期会員集会議事と午後6時のプログラム▶運営委員会活動計画と予算案確認・承認▶LA2チーム①ミーティング (書記・岩切 幸子)

■ 理事会報告

12月14日(土) 第4回理

クレジットカードで かんたん決済

神戸YWCAのホームページで、クレジットカード決済ができるようになりました。株式会社ロケットペイメントの決済代行システムを利用しており、セキュリティは万全です。

寄付・賛助費・会費・会友費にご利用いただけます。

右のQRコードを読み取り、アクセスしてください。



事会開催。出席理事7人、出席監事2人。事務所報告、財政報告がなされ、居住支援事業の進捗報告と2020年度の進め方、創立100周年募金の進捗報告、理事会の2019年度報告・2020年度計画について協議、承認された。次回第5回理事会は2月8日(土)14時より開催。
 (総幹事・西本 玲子)

■ 新入会員

徳島 千誉 (敬称略)

■ 賛助員

岩崎 妙子 モーア ウィリアム (敬称略)

■ 編集後記

日本も世界もほんとに難しい年ですが、希望の光を見込めることを願っています。
 (S・T)

世界祈禱日 2020

毎年3月の第1金曜日、教派を超えて和解と平和を求める祈りの日として世界中で守られています。

日時 3月6日(金)
 13:30~16:00

主題 「起き上がりなさい! 床をかついで歩きなさい
 ~ジンバブエからのメッセージ~」

会場 在日大韓基督教会神戸東部教会 (神戸市中央区日暮通 6-4-8)



ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円~
 パート 時給 1,100~1,200円
 登録型 時給 1,000~1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆ 生活支援訪問
 サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
 まごの手

☎ 078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町 2丁目 13-2

URL: <http://sanosousai.com>